
日本原子力学会 再処理・リサイクル部会

第33回全体会議

2017年 9月14日(木) 12:30~

北海道大学 K会場

再処理・リサイクル部会 第33回全体会議

- 部会長挨拶
- H29年度運営体制
- 同 活動計画
- 同 活動報告
- 同 予算計画

再処理・リサイクル部会

部会長 森田 泰治

H29年度運営体制(2017. 9)

	氏 名	分 担	
部会長	森田 泰治	(原子力機構)	現在 19名
副部会長	中村 裕行	(原燃分析)	
運営委員	津幡 靖宏	(原子力機構)	[庶務]、[広報]メーリングリスト
	渡邊 大輔	(日立)	[庶務]
	佐藤 聡	(三菱重工業)	[会計]
	塚原 剛彦	(東京工業大)	[会計]
	岡村 信生	(原子力機構)	[広報] 部会HP、夏期セミナー
	秋山 大輔	(東北大)	[企画] 夏期セミナー
	魚住 浩一	(電中研)	[企画] 部会等運営委員会、学会企画セッション
	大西 貴士	(原子力機構)	[企画] 夏期セミナー
	大村 恒雄	(東芝)	[企画] 学会企画セッション
	岡村 泰治	(日本原燃)	[企画] 部会セミナー、六ヶ所情報
	川久保 政洋	(原環センター)	[企画] 部会セミナー
	佐々木 良一	(三菱マテリアル)	[企画] 部会セミナー
	三倉 通孝	(東芝)	[企画] 部会セミナー、クリーンアップ ^o 分科会
	澤田 佳代	(名古屋大)	[企画] 学会企画セッション
	鷹尾 康一郎	(東京工業大)	[企画] 学会企画セッション
山本 将寛	(日本原燃)	[企画] 部会セミナー(夏期セミナー)	
野上 雅伸	(近畿大)	[企画] 学会企画セッション	

H29年度運営体制(2017. 9)

顧問: 竹内哲夫(元原子力委員), 田中 知(東京大学), 井上 正(電中研),

藤田玲子(JST)

以上 4名

参与: 野村茂雄, 小山智造, 峯尾英章, 天野 治, 駒 義和, 松村達郎, 小泉 務, 小山真一,

加瀬 健, 梅田 幹(原子力機構), 鈴木一弘, 徳森律朗, 山澤正俊(東京電力),

木地俊太, 林 眞一(関西電力), 飯塚政利(電中研), 池田泰久(東京工業大学),

田辺哲朗, 稲垣八穂広(九州大学), 山名 元(京都大学), 佐藤修彰(東北大学),

浅沼徳子(東海大学), 鈴木達也(長岡技術科学大学),

大場一鋭, 染谷 浩(三菱マテリアル), 有田裕二(福井大学),

森 行秀, 黒田一彦(三菱重工業), 深澤哲生, 星野国義, 鴨志田 守(日立GE),

山田和矢, 多賀純一(東芝), 齋藤 巖, 鎌田美昭, 夏目聖久(日本原燃),

日山伸行(原子燃料工業), 波多野 守

以上 38名

(所属は運営委員退任時)

H29年度活動計画

年間スケジュール

- 5月19日 運営小委員会・・・H29年度活動・予算計画 他
- 7月20日 運営小委員会・・・夏期・部会セミナー企画 他
- 8月30日～31日 第1回 夏期セミナー(青森原燃テクノロジーセンター)
- 9月13日～15日 2017秋の大会, 第33回全体会議(北海道大)
- 10月10日 運営小委員会・・・部会セミナー企画 他
- 11月 運営小委員会・・・部会セミナー企画 他
- 12月上旬～中旬 第13回 再処理・リサイクル部会セミナー(会場検討中)
- 2月 運営小委員会・・・部会賞企画 他
- 3月26日～28日 2018春の年会, 第34回全体会議(大阪大)
- 各種の企画 秋の大会及び春の年会 企画セッション,
学会誌トピックス記事の執筆, 再処理・リサイクル部会賞,
GLOBAL若手発表支援
- 国際会議等 ACTINIDES2017 (7月9日～14日, 仙台)
GLOBAL2017 (9月24日～29日, ソウル)

第1回 再処理・リサイクル部会 夏期セミナー

● 核燃料サイクルに関わる研究施設の現状について

日時：2017年8月30日～31日

会場：青森原燃テクノロジーセンター（青森県上北郡東北町）

座長：野上 雅伸（近畿大学 教授）

参加者：30名（うち学生12名）学生参加者（希望者）に対し旅費支援

東北大、東芝、電中研、日本原燃、原子力機構からの講演と討論、及び六ヶ所燃料サイクル施設の見学



H29年度活動報告

GLOBAL2017国際会議(ソウル) 若手支援

- GLOBAL2017 : Nuclear Energy Innovation to the Carbon-Free World

日時 : 2017年 9月24日～29日

会場 : Sheraton Grande Walkerhill, Seoul <http://www.global2017.org/>

- 若手支援

燃料サイクル分野の若手研究者の育成に資するため、発表予定の若手研究者、学生に対し渡航費(参加登録費含む)について支援を計画。

(一般) 30才以下(H29. 6. 30現在)の部会員、実費支給(上限15万円)

(学生) 学生である部会員、実費支給(上限10万円)

H29年度活動報告

GLOBAL2017国際会議(ソウル) 若手支援

● 支援対象者

Min Seok KIM (東工大、学生) Synthesis of Novel Diaza-Crown Ether Extractant and Its Application to Supercritical Carbon Oxide Extraction of Strontium Ions

関口 裕真 (東京大、学生) Study on Transfer Phenomena of Cesium and Iodine Dissolved in Molten LiF-NaF-KF Salt under Oxidative Atmosphere

寺島 敦仁 (東工大、学生) A Burnup Calculation for Creation of Pd by Nuclear Transmutation of Ru-Rh Alloy Recovered from Fission Products Using Pressurized Water Reactor

松下 和樹 (東工大、学生) Creation of New Analysis System using Self-assembled Monolayers on Glass Substrate

H29年度活動報告

IPRC2018国際会議（東海村, 2018年10月）

International Pyroprocessing Research Conference 2018 (乾式プロセスに関する国際会議)

- 日時 2018年 10月24日～26日
- 会場 東海村産業・情報プラザ アイヴィル
 (茨城県那珂郡東海村, JR東海駅前)
- トピックス
 - Overview and Strategy
 - Basic Researches
 - Head-end Process
 - Oxide Reduction
 - Electrochemical and Chemical Separation
 - Product Treatment
 - Waste Management
 - Analytical Techniques
 - Safety and Safeguards
 - Others
- 主催 : 日本原子力学会

H29年度活動報告

福島特別プロジェクト クリーンアップ分科会

- 分科会主査 井上 正(電中研)
- 放射性物質による環境汚染の修復が速やかに進むため、専門家集団としてその活動に積極的に協力すること。
- フォーラム、シンポジウム、地域集会などを通じて、正しい知識を持って除染や放射線に対する住民の疑問に答えること。
- H29年度も引き続き、JAふくしま未来の協力のもと水稻栽培試験を継続
- 環境再生プラザ(福島市、除染情報プラザより改称)への専門家派遣を継続(除染アドバイザー)

<http://josen.env.go.jp/plaza/>

H29年度予算計画

	項目	29年度計画(円)	28年度計画(円)	比較増減(円)	内 訳
収入の部	収入				
	一般正味財産				
	1. 本部予算(配分金)	252,000	270,000	-18,000	
	2. 独自事業予算	1,400,000	1,500,000	-100,000	部会セミナー、ぎんぎんセミナー参加費
	指定正味財産				
	3. 繰越金取崩 収入	4,632,000	3,832,000	800,000	
	収支 計	6,284,000	5,602,000	682,000	
支出の部	支出				
	1. 本部予算(配分金)				
	・ 旅費交通費	3,700,000	3,550,000	150,000	福島特別PJ活動旅費、GLOBAL2017渡航費補助、課題議論WG委員旅費、SA研究WG委員旅費、IPRC2018委員会委員旅費、企画セッション講師旅費
	・ 通信運搬費	60,000	60,000	0	切手・宅急便、部会委員選挙往復はがき
	・ 消耗品費	0	0	0	
	・ 一般外注経費	0	0	0	
	・ 諸謝金	40,000	40,000	0	企画セッション講師謝金
	・ 雑支出	52,000	52,000	0	部会賞副賞、振込手数料
	・ その他	500,000	500,000	0	IPRC2018準備負担金
		4,352,000	4,202,000	150,000	
	2. 独自事業予算				
	・ 会議費	705,000	720,000	-15,000	ぎんぎんセミナー、部会セミナー、講師用弁当
	・ 旅費交通費	800,000	200,000	600,000	ぎんぎんセミナー、部会セミナー講師旅費・旅費補助
	・ 通信運搬費	10,000	13,000	-3,000	宅急便・郵便
	・ 消耗品費	15,000	15,000	0	事務用品
	・ 一般外注経費	200,000	230,000	-30,000	セミナーテキスト作成費
	・ 出展費	50,000	50,000	0	セミナー用マイクロバス
	・ 諸謝金	120,000	140,000	-20,000	セミナー講師謝礼
	・ 雑支出	32,000	32,000	0	セミナーポスター賞副賞、振込手数料
		1,932,000	1,400,000	532,000	
	支出 計	6,284,000	5,602,000	682,000	
予算収支戻		0			
2018年度への繰越金(指定正味財産)			3,210,621		+ ANUP2016余剰金2,474,222が追加

H29年度の計画及び活動に関して
質疑、コメント等、お願いいたします。

2017秋の大会 企画セッション

核変換による高レベル放射性廃棄物の大幅な低減・資源化 ～再処理・リサイクルの観点から～

(2017年 9月14日(木) 13:00～14:30, K会場)

座長 小澤 正基 (JST, 東工大)

- 研究開発プログラム概要 藤田 玲子 (JST)
- 高レベル放射性廃液からのLLFP分離回収 佐々木 祐二 (原子力機構)
- 電解・化学還元によるガラス固化体溶解技術 浅野 和仁 (東芝)
- 高温化学反応によるガラス固化体溶解技術 武部 博倫 (愛媛大)
- 酸性水溶液によるガラス固化体湿式処理技術 鷹尾 康一郎 (東工大)
- 総合討論